



## 議題

# 萩医療圏における医療機能再編等について

- (1) 第1回中核病院協議会の概要
- (2) 萩医療圏における医療機能再編等のパターン



# (1) 第1回中核病院協議会の概要

## ●第1回中核病院協議会での意見①

### 「病院統合することで本当に医師確保ができるのか」

⇒医療知識や技術の研鑽のため、また最先端の医療を学ぶため、都市部の病院に若い医師が集中している状況の中、萩市に2病院統合による中核病院ができたとしても、若い医師を増やしていくことは難しいのが実状

◎萩医療圏においては、地域医療に興味がある若い医師を確保していくことが重要

※島嶼部や中山間地域がある萩医療圏は、へき地医療を学ぶ良いフィールド

### ○山口県の医師確保の取組

#### 【山口県医師確保計画】

- ・県内の医師確保のため、山口大学医学部に地域枠を設置

#### 「地域医療再生枠」

医師免許取得後、県内の公的医療機関等で9年間勤務義務

#### 「緊急医師確保対策枠」

医師免許取得後、県内の公的医療機関等で9年間勤務義務

そのうち過疎地域病院で4年間勤務義務あり（萩市は過疎地域）

萩市内の公的医療機関等＝萩市民病院

# ●第1回中核病院協議会での意見②

(R元.6.1～R2.5.31期) 山口県萩環境保健所  
R2.8.19受付分

○統合しても市が都志見病院の負債を引き継ぐことはない。

⇒「都志見病院の負債が譲渡価格に上乗せされるのではないか」

※譲渡価格の評価には様々な方法があり、単純に固定資産等の評価だけでは出来ない。統合の方針となれば専門業者による評価を行い、譲渡価格の交渉をすることとなる。

■本協議会で示す事業譲渡費用（概算）の算出根拠

- ・医誠会有形固定資産（建物や機器など）
- ・医誠会無形固定資産
- ・医誠会以外が所有している病院事業に必要な資産 など

➤医誠会所有資産 決算書類

➤医誠会以外所有の資産

土地についてはR3年分国税庁路線価から、建物については類似建物の建築価格等から経年減価補正を行い、仮の資産評価を算出

事業譲渡（概算）額 10億～20億円

様式3-1

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 医誠会

所在地 山口県萩市大字江向413番地1

貸借対照表  
(令和2年5月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>I 流動資産</b>	674,575	<b>I 流動負債</b>	2,091,979
現金及び預金	176,979	買掛金	182,232
事業未収金	433,310	短期借入金	1,391,200
たな卸資産	49,579	未払金	92,554
前払費用	3,115	未払費用	412,710
繰延税金資産		未払法人税等	202
その他の流動資産	11,592	未払消費税等	2,674
<b>II 固定資産</b>	2,182,815	預り金	10,407
1有形固定資産	630,253	その他の流動負債	
建物	561,540	<b>II 固定負債</b>	701,238
構築物	8,288	長期借入金	682,368
医療用器機備品	27,334	長期未払金	18,870
その他の器機備品	16,497	その他の固定負債	
車両及び船舶	0		
土地	14,679	<b>負債合計</b>	2,793,217
建設仮勘定	0		
その他の有形固定資産	1,915	<b>純資産の部</b>	
2無形固定資産	20,183		
借地権	6,806	<b>I 基金</b>	100,000
ソフトウェア	12,171	<b>II 積立金</b>	35,827
その他の無形固定資産	1,206	当期末処理損失	35,827
3その他の資産	1,532,379	(うち当期純利益)	(11,142)
長期前払費用	31,992	<b>III 評価・換算差額等</b>	0
繰延税金資産		その他の有価証券評価差額	
その他の固定資産	1,500,387	繰延ヘッジ損益	
<b>資産合計</b>	2,857,390	<b>純資産合計</b>	64,173
		<b>負債・純資産合計</b>	2,857,390

(注)表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

# ※貸借対照表（萩市民病院 R元.4.1～R2.3.31）

令和元年度 萩市民病院事業貸借対照表  
(令和2年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	円	円	円		円	円	円
<b>1. 固定資産</b>				<b>3. 固定負債</b>			
(1)有形固定資産				(1)企業債			
イ土地		816,181,857		建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>2,288,920,680</u>		
ロ建物	3,563,461,411			企業債合計		2,288,920,680	
減価償却累計額	<u>△ 2,234,532,288</u>	1,328,929,123		(2)引当金			
ハ構築物	223,465,824			イ退職給付引当金	<u>527,910,541</u>		
減価償却累計額	<u>△ 192,409,033</u>	31,056,791		引当金合計		527,910,541	
ニ車両及び運搬具	3,657,442			固定負債合計			2,816,831,221
減価償却累計額	<u>△ 3,474,570</u>	182,872		<b>4. 流動負債</b>			
ホ器械備品	1,885,066,793			(1)企業債			
減価償却累計額	<u>△ 1,527,258,091</u>	357,808,702		建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>278,566,475</u>		
ヘ建設仮勘定		2,050,000		企業債合計		278,566,475	
有形固定資産合計			2,536,209,345	(2)未払金		191,444,831	
(2)無形固定資産				(3)預り金		1,056,660	
イ電話加入権		734,158		(4)引当金			
無形固定資産合計			734,158	イ賞与引当金	69,384,998		
(3)投資その他の資産				ロ法定福利費引当金	<u>13,256,464</u>		
イ長期前払消費税		81,081,756		引当金合計		82,641,462	
投資その他の資産合計			81,081,756	流動負債合計			553,709,428
固定資産合計			2,618,025,259	<b>5. 繰延収益</b>			
				(1)長期前受金		246,412,191	
				(2)収益化累計額		<u>△ 161,651,711</u>	
				繰延収益合計			84,760,480
				負債合計			3,455,301,129
					資 本 の 部		
<b>2. 流動資産</b>				<b>6. 資本金</b>			877,747,899
(1)現金預金			508,341,054	<b>7. 剰余金</b>			
(2)未収金		508,774,359		(1)資本剰余金			
貸倒引当金	<u>△ 4,703,193</u>	504,071,166		イ受贈財産評価額	7,667,108		
(3)貯蔵品		17,235,313		ロその他資本剰余金	<u>206,243,478</u>		
流動資産合計			1,029,647,533	資本剰余金合計		213,910,586	
資産合計			3,647,672,792	(2)利益剰余金			
				イ当年度未処理欠損金	<u>899,286,822</u>		
				利益剰余金合計		<u>△ 899,286,822</u>	
				剰余金合計			△ 685,376,236
				資本合計			192,371,663
				負債資本合計			3,647,672,792

# ● 萩医療圏において公的、中核的病院が担うべき医療

- ・ 萩医療圏で最低限必要な医療（特に救急医療）は維持していくべき  
⇒ 概ね賛同の意見

## <目指す医療圏のイメージ>

※萩医療圏全体で最低限必要な医療を維持

### 【萩医療圏の現状】

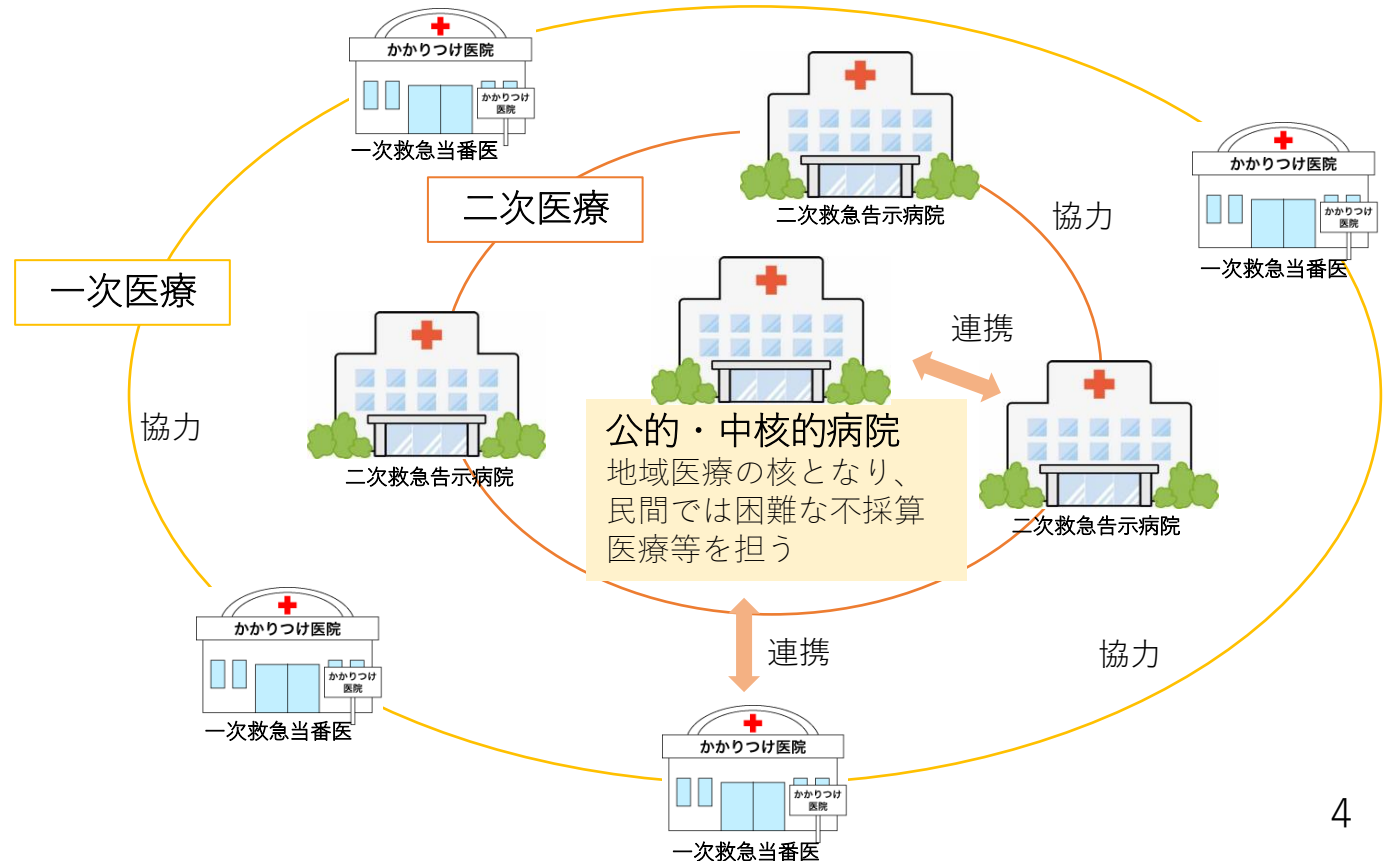
医師（医療従事者）の不足、  
高齢化

- ⇒ 新たな医師確保困難
- ⇒ 今までの医療提供体制の維持が困難



このままでは、萩医療圏に  
最低限必要な医療（救急医療など）が維持できない。

⇒ 萩医療圏の医療機能再編等の検討が必要



# ● 萩医療圏に最低限必要な医療を維持していくために

これまでの2病院統合による中核病院形成の協議

## 中核病院形成検討委員会

### ■ 中核病院形成の基本的な方向性

#### ▶ 中核病院が担うべき医療

がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病（4疾病）  
救急・周産期・小児・へき地・災害（5事業）

### ■ 診療科・医療機能・病床規模

#### ▶ 診療科・医療機能

2病院の既存の診療科・医療機能を維持・拡充

#### 【診療科・医療機能】

- (急性期)
- ・原則として既存の2病院の診療科を維持
- (回復期)
- ・圏域にない回復期リハビリテーション病棟の整備
- (慢性期)
- ・慢性期病床は廃止

#### (4疾病)

##### 【がん】

- ・現在の診断、手術、化学療法、緩和ケア等の医療体制を維持
- ・放射線治療は今後の課題(医師確保、費用面等)

##### 【脳卒中】

- ・圏域に脳神経外科を維持し、診断、初期対応が可能な体制を維持

##### 【急性心筋梗塞】

- ・ACSホットライン維持
- ※ACS：急性冠動脈症候群
- ※24時間体制

##### 【糖尿病】

- ・住民の高齢化により罹患者が増加傾向であり、透析等を含む、医療提供体制を維持

#### (5事業)

##### 【救急】

- ・医療人材の集約による効率的な二次救急体制の検討
- ・医師(医療従事者)確保が最重要課題

##### 【周産期】

- ・産科医不在地区とならないよう産科医確保を目指す
- ・小児周産期医療の一体提供を目指す

##### 【小児】

- ・圏域内に入院可能な小児科を維持

##### 【へき地】

- ・へき地支援病院の指定

##### 【災害】

- ・災害拠点病院の指定

## (2) 萩医療圏における医療機能再編等のパターン

### ● 医療機能再編等のパターンの検討

萩医療圏で最低限必要な医療（特に救急医療）を維持していくために

萩医療圏において公的、中核的病院が担うべき医療

⇒ 民間の医療機関では困難な不採算な医療等

【救急医療】、【小児医療】、【災害拠点】 など



公的、中核的病院が担うべき医療が提供できる病院（中核病院）を形成するために最適な手法は何か

医療機能再編等のパターンの検討

(第1回中核病院協議会)

#### ・これまでの2病院統合案（萩市民病院と都志見病院の統合）

⇒ 次回「萩市民病院と都志見病院との統合による中核病院形成のパターン」について、これまでの検討（中核病院形成検討委員会における仮設定）をベースに費用や財源等の見込（概算）を示す。・・・（資料2）

#### ・これまでの2病院統合案以外の案

※具体的な提案はなし